

竹原市行財政経営強化方針アクションプラン

実施項目(主なもの)に係る令和3年度取組実績及び令和4年度取組内容について

基本方針1 市民目線に立ったまちづくりの推進

目指す姿	市民と行政との相互理解が深まり、市民の声を活かし、多様な意見を尊重してまちづくりを進めている	
実施項目	令和3年度取組実績	令和4年度取組内容
市民との対話機会の充実	○市内で賑わい創業支援金を活用して開業した事業者(9月)及び市内企業へ就職した若手職員(10月)を対象として、本市の魅力づくりなどについて市長と意見交換する「まちづくりミーティング」を実施した。	○新型コロナウイルス感染症拡大の防止対策を講じることを前提とし、住民自治組織や若者、子育て世代等を対象としたミーティングを実施し、幅広く市民の声を市政運営に活かしていく。
市政への提案をしやすい環境づくりの推進	○「市長への私の提案」としていただいた意見について、広報たけはら6月号に令和2年度の意見を取りまとめて公表した。また、広報たけはら裏表紙及びホームページに意見募集の記事を掲載し、周知を図った。 ○令和3年度に「市長への私の提案」としていただいた意見とそれに対する回答を四半期ごと(6月・9月・12月)に取りまとめてホームページで公開した。	○これまでの取組を引き続き実施するとともに、より提案しやすい制度となるようSNSを活用した意見募集の手法について検討する。 ○竹原市パブリックコメント手続実施要綱に基づき、適切な時期に手続きを行う。 ○「市長への私の提案」の実施方法について、他自治体の運用方法も参考にしながら効果的となるよう必要に応じて見直しする。
戦略的な広報の推進	○広報紙の年間計画を作成し、各種手続きやイベントの開催など適切な時期に必要な市政情報を発信した。 ○新たに令和3年8月からLINEによる情報発信を開始するとともに、令和4年1月には市ホームページのリニューアルを行い、市内外への情報発信力を強化した。 ○報道実績や新聞等での報道につながった広報の好事例などについて、連絡会議で紹介し庁内共有を図った。	○情報発信及び広報紙の年間計画を作成することで適切な時期に情報発信を行い、効果的な施策推進を図る。 ○情報発信ツールを相互に活用しながら効果的な情報発信を行うための職員研修会を行う。

基本方針2 行政サービスの質的向上

目指す姿	市民に信頼される市役所として、行政手続きの利便性向上や多様な主体との連携により地域課題の解決を図るなど、質の高い行政サービスを提供している
------	---

実施項目	令和3年度取組実績	令和4年度取組内容
利便性を考慮した行政サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ○各課で押印廃止が可能と判断した申請書等の押印廃止を実施した。 ○令和3年10月から竹原市への手数料等に係る電子マネーでの支払方法を導入した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ホームページへ掲載できる申請書等を随時掲載する。
大学及び民間企業等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○7月に(株)大塚製薬、8月に明治安田生命保険相互会社、10月に県立広島大学との連携協定を締結した。 ○広島ドラゴンフライズとの連携協定に基づき、小学校2校へ当該選手が学校訪問しバスケットボール教室を実施した。 ○県立広島大学との連携協定に基づき、竹原地域次世代ビジネスリーダー養成講座「憧憬未来塾」を開講した。 ○瀬戸内ファンづくり協定に係る取組として、宿泊助成(3市同条件)とJRの運賃助成をセットにしたお試し暮らし宿泊助成事業を3市(竹原・三原・尾道)とJR西日本で検討した。(令和4年実施予定) ○自治体間等連携・交流事業として、ふるさと納税返礼品のコラボ事業を余市町と行った。 ○三原農業協同組合と地域見守り活動に関する協定を締結した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○協定を締結した大学及び民間企業と連携協定項目に基づいた具体的な取組を実行する。

基本方針3 効率的・効果的な組織の構築

目指す姿	コミュニケーションの活性化やワークライフバランスを実現する職場環境において、職員個人や組織の力が最大限に発揮され、行政課題の解決に的確に対応できる組織が構築されている
------	---

実施項目	令和3年度取組実績	令和4年度取組内容
マネジメントサイクルの構築	<ul style="list-style-type: none"> ○総合計画の効果検証について、外部委員による客観的な検証を実施した。 ○令和2年度取組みの検証結果をホームページで公表した。 	○庁内各種計画について、PDCAサイクルを回しながら進捗管理を行い、必要に応じて評価方法の見直しを図る。
女性の活躍推進	<ul style="list-style-type: none"> ○女性の視点による意見を各施策に活かすため、各組織において女性委員の就任について取り組んだ。(竹原市地方創生推進会議1名増, 教育委員会1名増, 竹原市スポーツ推進委員2名増) ○令和3年度中に女性職員の働いている姿やメッセージをホームページに掲載することについて取り組んでいる。 	○女性職員の意欲向上やキャリア形成を目的として各種研修への参加を促進する。
人材育成の推進	○庁内職員研修について、職階別に応じた独自研修を実施した。(出生率の上昇に向けた取組研修 9/30, 10/1・4, インボイス研修 11/30, 地域情報化アドバイザー講演会 1/20・21, 県立広島大学ビジネスリーダー養成講座 10/1～)	○職階に応じた独自研修を検討・実施し職員の能力開発と育成を図る。

基本方針4 持続可能な財政基盤の確立

目指す姿	弾力的かつ収支が均衡した持続可能な財政基盤が確立している
------	------------------------------

実施項目	令和3年度取組実績	令和4年度取組内容
財政運営に関する計画の策定・見直し	<p>○財政健全化計画の取組等により、令和2年度決算においては、基金が9年ぶりに増加したものの、未だ基金残高は低い水準であり、また、経常収支比率(96.0%)についても、前年度から改善しているものの、引き続き高い水準にあり、財政構造が硬直化した厳しい財政状況が続いていることを踏まえ、引き続き現計画通り実行することとした。</p> <p>○議会全員協議会(R3.9.29)において、財政健全化計画の取組状況等について報告した。</p>	<p>○令和3年度決算等を踏まえ、必要に応じ財政健全化計画の見直しを行う。</p>
その他内部管理経費の節減	<p>○低圧電力の調達に係る入札を実施し、令和4年4月から公共施設の電気使用料を削減した。</p> <p>○経常経費の予算シーリングによる事業費の削減等を実施した。</p> <p>○事務負担の軽減等を図るため、令和4年4月から支出費目の見直し等を実施した。</p> <p>○メール等について庁内回覧板の利用を課内で統一し、ペーパーレス化を図った。</p>	<p>○令和5年3月に契約期間が満了となる公共施設の高圧・低圧電力の入札を実施する。</p> <p>○事務負担の軽減等を図るため、口座振替の推進に取り組む。</p> <p>○その他内部管理経費について、引き続き節減に取り組む。</p>
受益者負担の適正化	<p>○令和3年10月から一般廃棄物処理の有料化を実施した。</p> <p>○市内の各地域交流センターの使用料の不均衡を解消するため、コミュニティ集会所設置及び管理条例により設置した当該集会所のうち4か所を廃止した(令和4年4月から廃止)</p>	<p>○引き続き、使用料の調整等、受益者負担の適正化に取り組む。</p>

<p>多様な財源の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○広報紙及び窓あき封筒への広告掲載を実施した。 ○掲載サイトの追加及び返礼品の拡充を実施し、ふるさと応援寄附金が増加した。 ○新型コロナウイルス感染症対策・支援を目的とした寄附の募集を実施した。 ○企業版ふるさと納税を財源とした事業を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> ○掲載サイトの追加やリピーターの確保，企業版ふるさと納税を財源とした事業の周知を行うことにより，さらにふるさと応援寄附金の増加を図る。 ○引き続き広報紙や窓あき封筒への広告掲載を募集する。
-----------------	---	---